

令和5年3月8峰町議会定例会会議録（第3日）

令和5年3月16日（木曜日）

議事日程第3号

令和5年3月16日（木曜日）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 一般質問
- 第3 陳情第7号 学校部活動の地域移行に関する陳情書について
- 第4 陳情第8号 再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情について
- 第5 陳情第9号 米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稻収穫量調査の基準見直しを求める陳情について
- 第6 陳情第3号 消費者被害を防止、救済するための特定商取引法の抜本的法改正を求める陳情書について

出席議員（12人）

1番 笠原吉範	2番 伊藤一八	3番 奈良聡子
4番 芦崎達美	5番 水木壽保	6番 菊地薫
7番 腰山良悦	8番 見上政子	9番 須藤正人
10番 門脇直樹	11番 山本優人	12番 皆川鉄也

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長	堀内満也	副町長	日沼一之
教育長	川尻茂樹	総務課長兼 新型コロナウイルス 総合対策室長	和平勇人
税務会計課長	成田拓也	企画財政課長	高杉泰治
福祉保健課長	石上義久	教育次長	山本節雄
学校教育課長	山内章	産業振興課長	山本望
農林振興課長	浅田善孝	建設課長	石嶋勝比古

農業委員会事務局長	工藤善美	生涯学習課長	今井利宏
あきた白神体験センター所長	菊地俊平	防災まちづくり室長	内山直光

議会事務局職員出席者

議会事務局長	佐々木高	議会事務局庶務係長	須藤佳奈子
--------	------	-----------	-------

午前10時00分開議

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

傍聴者の方には、朝早くからご苦勞様でございます。よろしくお願いをいたします。

ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、6番菊地 薫君、7番腰山良悦君、8番見上政子さんの3名を指名します。

日程第2、一般質問を行います。

順番に発言を許します。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） おはようございます。傍聴者の皆様には、朝早くからご苦勞様でございます。

議席番号2番伊藤一八です。通告に従いまして、一般質問をいたします。

近年、テレワークという新たなワークスタイルが確立されてきています。フルリモート勤務に移行したり、兼業・副業を可能とする企業も増えていきます。

移住・定住を促進するために、県や町のホームページにも載っていますが、移住者を対象とした移住支援金制度もあり、移住先で就業したい方や起業したい方以外にも、転職せずにテレワークで移住元の業務を行う方も対象となっています。対象は、東京23区内在住、または東京圏、埼玉、千葉、神奈川からの対象地域の23区内に通勤している方、条件不利地域といって八峰町の規模のような地域からの通勤者は制度利用の対象外と条件はありますが、移住のために職を辞めなくてもよい環境もできております。

また、自由度の高い働き方のフリーランスの人口は、年々増加傾向にあります。通信環境さえ整っていれば、どこにいても仕事ができる職種も多くあります。移住者を今以上に増やすためにも、去年行った旧沢目子ども園をテレワーク施設として貸し出すとい

うような事業を通年で利用できる施設として貸し出すことで、移住を考えているが転職したくない方や、田舎暮らしにあこがれているフリーランスの方々の移住に繋がると考えます。また、旧沢目子ども園以外にも旧八森中や旧塙川小などの空き教室をリノベーションし活用することで、使われてない施設の一部の有効活用に繋がったり、転職しない移住により自由度の高い働き方で半農半Xの人材確保にも繋がると考えます。

今以上に移住・定住推進のために通年で利用できるテレワーク施設やシェアオフィスの充実を図り、転職をしなくても移住できる環境づくりも大切と思いますが、町長の考えを伺います。

以上、よろしく願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。
堀内町長。

○町長（堀内満也君） おはようございます。伊藤議員のご質問にお答えいたします。

テレワークについては、新型コロナウイルスの感染拡大により注目を集めるようになりましたが、ウイズコロナが常態化した現在においても、一つの働き方として定着しております。

こうした中、国ではICTを活用した柔軟な働き方を支援する働き方改革を掲げ、通勤にかかる時間がなくなることで家族と過ごす時間や趣味に充てる時間を増やすなど、公私共に充実するワーク・ライフ・バランスの向上を推進しております。

また、町では、テレワークを実施している町民から、自宅以外のワーキングスペースによりテレワークを行える施設整備の要望を受け、昨年6月から旧沢目子ども園を活用し、テレワークモニター事業を実施したところであり、これまでに3名の方が利用しております。

さらに、移住・定住の観点からも、テレワークは非常に重要な要素であると捉えており、今後は、モニター事業の施設利用者から寄せられた意見や、令和5年度に実施予定の半農半X事業に参加する方々の意見等を参考にしながら、施設の充実を含めたテレワーク事業の可能性を検討してまいります。

私からは以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 2番議員、再質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） 町長の答弁ありがとうございます。私から再質問させていただきます。

まず、使用されていない旧八森中や塙川小の空き教室などあると思うんですが、そこをリノベーションなどして今後活用するという考えはありませんか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） もちろん旧八森中、あるいは塙川小学校等ですね空きスペースにつきましては、空きスペースがあるというふうにはこちらも認識しているところがあります。しかし、今年度ですね実施しましたモニター事業等の方々の意見等をこういろいろと聞きますとですね、いろいろとその要望がちょっと我々とイメージしているところがずれているといったようなところもありましたので、そういったところも含めてですね、そういった空きスペースの活用については検討していきたいと考えております。

○議長（皆川鉄也君） 2番議員、ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） 利用者が3名ということで、なかなか活用しづらいという点はあると思うんですが、今年度新たにまた道の駅の移転などもありますので、その併設した施設にテレワーク施設を開設するなどいろいろな方法はあると思うんですが、その辺、町長の考えをお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の再質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 再構築に関しましては、まだ事業中でございますし、そういった議員の意見もですね踏まえた検討を進めたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。

○2番（伊藤一八君） まず事業が進んでる途中ということで、今後期待していきたいと思えます。

それですね、今その地方テレワーク推進ということでいろいろ、ほかの自治体もいろいろな事業を進めたりしているんですが、例えば和歌山県の白浜町という町なんですけれども、サテライトオフィスを整備して企業を誘致して、で、そこでテレワークを行いながらワーケーションを推進すると、そういうようなこともやっている自治体もあります。今、去年はまず3名ということでしたが、こういうような事業を進めていってSNSで発信すると、そうするとやはり転職をしなくても移住できる方々が八峰町に来やすいというような環境もできてくると思うんですが、サテライトオフィスの設置の予定などは今後ありますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの2番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

- 町長（堀内満也君）　ちょっと繰り返しになるところもあるかもしれませんが、いずれ今年度実施した3名の方々の意見、あるいは能代市にあるマルヒコビルのですね、あそこもシェアオフィスやってるんですけども、そういった方々からの意見、こういったところもですね参考にしながら、八峰町としてどういったところができるのか、メリットが何で、デメリットは何なのか、そういったところをしっかりと把握した上で進めたいというふうに考えております。
- 議長（皆川鉄也君）　2番議員、ほかに質問ございませんか。2番伊藤一八君。
- 2番（伊藤一八君）　ありがとうございます。今年の2023年版の宝島社で出版している「田舎暮らしの本」という雑誌で、「住みたい田舎ベストランキング」というのがありまして、20万以上のまちで秋田市が総合で1位になってます。やはり秋田市1位になってる理由としても、移動が便利、テレワーク施設も充実している、そういう点から多分1位になってると思うんですが、子育て世代が住みたいまちは4位、4位なんですよ秋田市。ですからやはり、子育て世代、シニア世代、全ての世代が移住・定住できるようなテレワーク施設の設置を是非考えていただきたいと思います。答弁は要りません。
- 議長（皆川鉄也君）　これで2番議員の一般質問を終わります。